NEWS RELEASE

一般社団法人日本自動車会議所
Automobile Business & Culture Association of Japan

2026 年 11 月 2 日

熊本県地震復興支援のための募金を熊本県へ贈呈

― モータースポーツファンと業界関係者の思いを被災地へ ―

一般社団法人日本自動車会議所（会長：豊田章男）は、令和 8 年熊本地震からの復興支援を目的として実施した「熊本復興支援募金」において、全国のモータースポーツファンや関係者の皆さまからお寄せいただいた募金を取りまとめ、熊本県へ寄付しました。

贈呈にあたっては、熊本地震の被災地域にほど近く、地域社会との連携を深めながら活動している株式会社オートポリスと共に、10 月 30 日に熊本県庁を訪問し、熊本県関係者へ目録を贈呈しました。

本活動は、日本自動車会議所モータースポーツ委員会が中心となり、全国の主要モータースポーツイベント会場で実施したものとなります。



熊本県庁での贈呈式の様子

（左から、株式会社オートポリス 代表取締役社長 金子隆氏、熊本県 観光文化部長 梅川日出樹氏、
日本自動車会議所 モータースポーツ委員会委員長 加地雅哉）

日本自動車会議所モータースポーツ委員会には、レースプロモーター、統括団体、自動車メーカー等、モータースポーツに関わる様々な企業・団体が参画しています。同委員会では、モータースポーツ業界として被災地の復興を支援したいとの思いから、全国のレース会場に募金箱を設置し、来場者や関係者の皆さまに協力を呼び掛けました。募金活動は全国の主要レース会場で実施し、多くのモータースポーツファンや関係者の皆さまから温かいご支援をお寄せいただきました。モータースポーツが人々をつなぐ力を持つことを改めて示すとともに、業界全体が一体となって社会課題に向き合う取り組みとなりました。

また、オートポリスでは、熊本地震からの復興への願いと地域への応援の気持ちを込め、サーキットのシンボルであるコントロールタワー最上段に「がんばろう！熊本」の大型看板を掲出し、復興への強い想いを発信しています。

日本自動車会議所では、本活動にご賛同・ご協力いただいたすべての皆さまへ心より御礼申し上げます。

今後もモータースポーツを通じた社会貢献活動を推進するとともに、関係団体・企業との連携を通じて、持続的な社会価値の創出に取り組んでまいります。

【活動結果概要】

実施期間	2026 年 8 月～10 月
実施主体	一般社団法人 日本自動車会議所 モータースポーツ委員会
実施場所	スポーツランド SUGO、モビリティリゾートもてぎ、富士スピードウェイ、鈴鹿サーキット、岡山国際サーキット、オートポリス
対象大会	SUPER GT、SUPER FORMULA、スーパー耐久、全日本ロードレース選手権、MotoGP、KYOJO CUP ほか
寄付先	熊本県
募金総額	12,475,396 円（2026 年 10 月 30 日時点） ※株式会社オートポリスによる関連募金（3,397,483 円）含む



募金活動の様子



オートポリス コントロールタワー看板

（本件問い合わせ先）一般社団法人 日本自動車会議所
e-mail：public_relations@aba-j.or.jp